

Japanese Utility Model Application Laid-Open (JP-U) No. 6-60546

Laid-Open Date: August 23, 1994

Application No. 5-2708

Application Date: February 4, 1993

Applicant: Ichikoh Industries, Ltd.

Title: Mirror Housing for Vehicle Rearview Mirror

Summary

Object:

To provide a structure in which a garnish 3 can be post-assembled.

Structure:

A housing body 2 and a garnish 3 are assembled together by means of an engaging hole 16, an engaging pawl 33 and an elastic plate portion 24. The engaging hole 16 is provided in the housing body 2 and the engaging pawl 33 is provided at the garnish 3. The elastic plate portion 24 is provided between the housing body 2 and the garnish 3 such that elastic force caused by the elastic plate portion 24 acts in a direction in which engagement between the engaging hole 16 and the engaging pawl 33 occurs. Because the elastic force caused by the elastic plate portion 24 acts on the engaging hole 16 and the engaging pawl 33 in the direction stated above, the engaging hole 16 and the engaging pawl 33 are engaged more securely than in a case where engaging pawls are simply engaged together. Thus, because the housing body 2 and the garnish 3 can be assembled sufficiently firmly without requiring screws and the like, the garnish 3 can be post-assembled.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-60546

(43)公開日 平成6年(1994)8月23日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 R 1/06	Z	8012-3D		
	D	8012-3D		
F 1 6 B 5/10	A	7127-3J		

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 2 頁)

(21)出願番号 実願平5-2708

(22)出願日 平成5年(1993)2月4日

(71)出願人 000000136

市光工業株式会社

東京都品川区東五反田5丁目10番18号

(72)考案者 長谷川 雄一

神奈川県伊勢原市板戸80番地 市光工業

株式会社伊勢原製造所内

(74)代理人 弁理士 秋本 正実

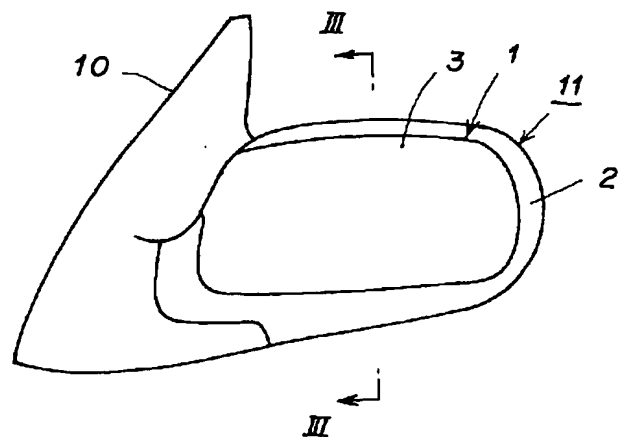
(54)【考案の名称】 車両用後写鏡のミラーハウジング

(57)【要約】

【目的】 ガーニッシュ3を後組付することができることを目的とする。

【構成】 ハウジング本体2とガーニッシュ3とにそれぞれ設け、相互に係合する係合孔16及び係合爪33と、そのハウジング本体2とガーニッシュ3との間に設け、前記係合孔16及び係合爪33が係合する方向に弾性力が作用する弾性板部24と、により前記ハウジング本体2と前記ガーニッシュ3とを組み付ける。この結果、係合孔16及び係合爪33には、弾性板部24の上述の係合孔16及び係合爪33が相互に係合する方向の弾性力が作用するので、係合孔16及び係合爪33の係合状態が、ただ単に係合爪を相互に係合した係合状態と比較して確固である。従って、ハウジング本体2とガーニッシュ3とを、ねじ等を用いずに、充分に確固に組み付けることができるので、ガーニッシュ3を後組付することができる。

【図 1】



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 それぞれ別体のハウジング本体とガーニッシュとを組み付けてなる車両用後写鏡のミラーハウジングにおいて、

前記ハウジング本体と前記ガーニッシュとは、前記ハウジング本体と前記ガーニッシュとにそれぞれ設け、相互に係合する係合手段と、前記ハウジング本体と前記ガーニッシュとの間に設け、前記係合手段に係合する方向に弾性力が作用する弾性部材と、により組み付けられていることを特徴とする車両用後写鏡のミラーハウジング。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の車両用後写鏡のミラーハウジングの第

1の実施例を示し、本考案のミラーハウジングを使用したドアミラーの斜視図である。

【図2】 ハウジング本体の後側の斜視図である。

【図3】 図1におけるⅠⅠⅠ-ⅠⅠⅠ線断面図である。

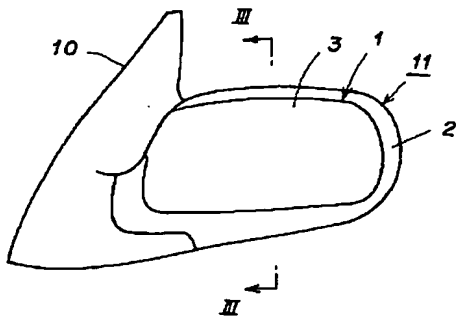
【図4】 図2の分解断面図である。

【符号の説明】

1…ミラーハウジング、12…ユニットブラケット、14…ミラー、16…係合孔（係合手段）、2…ハウジング本体、20…前面開口部、21…差込溝、22…段部、23…スリット、24…弾性板部（弾性部材）、25…透孔、3…ガーニッシュ、31…差込凸部、32…凸部、33…係合爪（係合手段）。

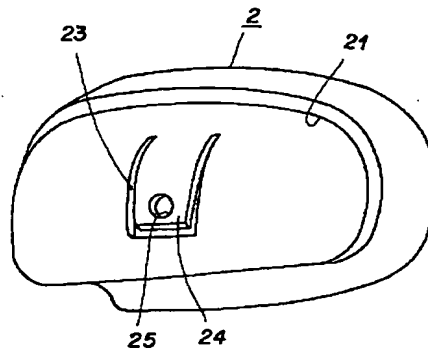
【図1】

【図1】



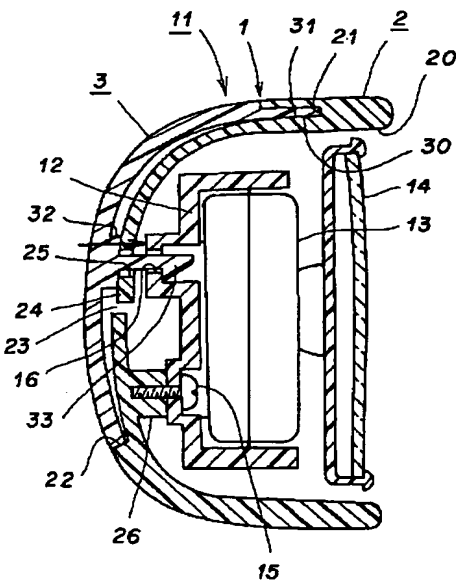
【図2】

【図2】



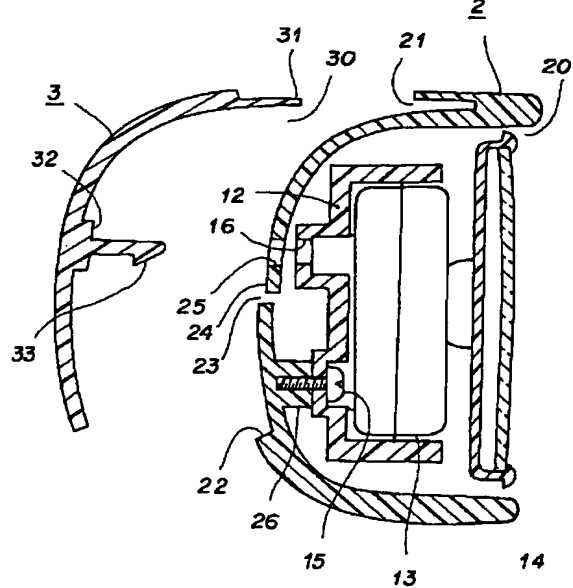
【図3】

【図3】



【図4】

【図4】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、例えばドアミラー等の車両用後写鏡のミラーハウジングであって、そのミラーハウジングがそれぞれ別体のハウジング本体とガーニッシュとを組み付けてなる所謂２部品組付構造タイプ（若しくは２分割構造タイプ）のミラーハウジングに係り、特にハウジング本体とガーニッシュとの組付が確固で、かつガーニッシュの後組付が可能である車両用後写鏡のミラーハウジングに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

ドアミラー等の車両用後写鏡は、一般に、前面部を開口したミラーハウジングと、そのミラーハウジングの前面開口部に配設したミラーと、を備える。

その車両用後写鏡におけるミラーハウジングは、最近、ハウジング本体とガーニッシュとのそれぞれ別体のものに２分割し、そのハウジング本体の後部にカバー形状のガーニッシュを外側から覆い被せて組み付けた所謂２部品組付構造タイプのものが多く使用されている。係るミラーハウジングにおいては、ハウジング本体とガーニッシュとに、それぞれ異なる材質のもの若しくは異なる色彩のものを使用することができ、又はそれぞれ異なる表面処理を施すことができる等の効果がある。

係る車両用後写鏡のミラーハウジングは、一般に、ハウジング本体とガーニッシュとにそれぞれ設けた係合爪を相互に係合し、かつハウジング本体の内側（前面側）からガーニッシュ側にねじをねじ込んで、ハウジング本体とガーニッシュとを組み付けてなるものである。

このミラーハウジングにおいてねじを使用するのは、ハウジング本体側の係合爪とガーニッシュ側の係合爪とをただ単に相互に係合させただけでは、ハウジング本体とガーニッシュとの組付が充分ではなく両者の組付が外れる虞があるため、その虞を解消するためのものである。また、ねじをハウジング本体の内側からガーニッシュ側にねじをねじ込むのは、ねじをガーニッシュ側からハウジング本

体側にねじ込むと、そのねじがガーニッシュの外側から見えて外観の見栄えが好ましくないため、その外観の見栄えを向上させるためのものである。

上述の車両用後写鏡のミラーハウジングとしては、例えば実開昭62-8846号公報に記載のものがある。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

ところが、上述の従来の車両用後写鏡のミラーハウジングは、ハウジング本体側の係合爪とガーニッシュ側の係合爪とのただ単なる相互の係合によるハウジング本体とガーニッシュとの組付不十分を補うために、ねじをハウジング本体の内側からガーニッシュ側にねじ込む必要がある。このために、ハウジング本体側にミラー等を取り付け、そのハウジング本体側をドア等の車体に取り付け、その後そのハウジング本体にガーニッシュを取り付ける、所謂ガーニッシュの後組付が不可能である。

【0004】

本考案の目的は、ハウジング本体とガーニッシュとの組付が確固で、かつガーニッシュの後組付が可能である車両用後写鏡のミラーハウジングを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本考案は、ハウジング本体とガーニッシュとにそれぞれ設け、相互に係合する係合手段と、そのハウジング本体とガーニッシュとの間に設け、前記係合手段に係合する方向に弾性力が作用する弾性部材と、により前記ハウジング本体と前記ガーニッシュとを組み付けたことを特徴とする。

【0006】

【作用】

本考案は、上記の構成により、ハウジング本体側の係合手段とガーニッシュ側の係合手段とは、弾性部材の弾性力であって、上述の係合手段が相互に係合する方向の弾性力が作用するので、ハウジング本体側の係合手段とガーニッシュ側の係合手段の係合状態が、ただ単に係合爪を相互に係合した係合状態と比較して

確固である。この結果、ハウジング本体とガーニッシュとを、ねじ等を用いずに、係合手段の相互の係合と弾性部材の弾性力とにより、十分に確固に組み付けることができる。従って、ガーニッシュを後組付することができる。

【 0 0 0 7 】

【実施例】

以下、本考案に係る車両用後写鏡のミラーハウジングの一実施例を添付図面を参照して説明する。

図 1 は本考案の車両用後写鏡のミラーハウジングの第 1 の実施例を示し、その本考案のミラーハウジングを使用したドアミラーの斜視図、図 2 はハウジング本体の後側の斜視図、図 3 は図 1 における I I I - I I I 線断面図、図 4 は図 3 の分解断面図である。この例は車両用ドアミラーに使用した例について説明する。

図において、10 は自動車のドア（図示せず）に固定するミラーベースである。このミラーベース 10 にシャフトホルダ（図示せず）を固定し、そのシャフトホルダにシャフト（図示せず）を一体に突設し、そのシャフトにミラーアセンブリ 11 を回転可能に装備する。前記ミラーアセンブリ 11 は、前記シャフトに回転可能に支持したユニットブラケット 12 と、そのユニットブラケット 12 にスクリュー等 15 により固定した後述するミラーハウジング 1 及びパワーユニット 13 と、そのパワーユニット 13 に上下左右に傾動可能に取り付け、かつ前記ミラーハウジング 1（後述するハウジング本体 2）の前面開口部 20 に配設したミラー 14 とを備える。

前記ミラーハウジング 1 は、それぞれ別個のハウジング本体 2 とガーニッシュ 3 とを組み付けてなるものである。

【 0 0 0 8 】

前記ハウジング本体 2 は、例えば黒色の PP（ポリプロピレン）等からなり、図 2 乃至図 4 に示すように、前面側に開口部 20 を設ける。このハウジング本体 2 の前記前面開口部 20 の上縁から左右両縁にかけての後面側に差込溝 21 を設けると共に、このハウジング本体 2 の下部に段部 22 を前記ガーニッシュ 3 の肉厚分後方に突出させて設ける。このハウジング本体 2 のほぼ中央部分に凹形状のスリット 23 を設けて弾性部材としての弾性板部 24 を形成し、かつその弾性板

部 2 4 に円形の透孔 2 5 を設ける。一方、このハウジング本体 2 と上述のようにして一体構造をなす前記ユニットブラケット 1 2 に、ハウジング本体 2 側の係合手段としての係合孔 1 6 を、前記透孔 2 5 と対応して設ける。このハウジング本体 2 の前面側の前記弾性板部 2 4 より下方の部分に前記ユニットブラケット 1 2 を固定するためのスクリウ 1 5 がねじ込まれるボス部 2 6 を一体に突設する。

【0009】

前記ガーニッシュ 3 は、例えば前記ハウジング本体 2 と色彩若しくは材質の異なるものからなり、図 2 及び図 3 に示すように、前記ハウジング本体 2 の後部の上部から下部の前記挿入穴 2 2 の下面までの部分を覆うようなカバー形状をなし、前面側に開口部 3 0 を設ける。このガーニッシュの前面開口部 3 0 の上縁から左右両縁にかけての前面側に差込凸部 3 1 を、前記ハウジング本体 2 の差込溝 2 1 に対応して一体に突設する。このガーニッシュ 3 の前面側のほぼ中央に凸部 3 2 を前記ハウジング本体 2 の弾性板部 2 4 に対応して一体に突設すると共に、その凸部 3 2 に先端が断面三角形形状をなす係合手段としての係合爪 3 3 を前記ハウジング本体 2 の透孔 2 5 及び係合孔 1 6 と対応して一体に突設する。

【0010】

かくして、前記ガーニッシュ 3 の係合爪 3 3 を、前記ハウジング本体 2 の透孔 2 5 を通して、そのハウジング本体 2 と一体構造の前記ユニットブラケット 1 2 の係合孔 1 6 の縁に、後述する弾性板部 2 4 の弾性力に抗して係合させると共に、前記ガーニッシュ 3 の差込凸部 3 1 を前記ハウジング本体 2 の差込溝 2 1 に差し込み、かつ前記ガーニッシュ 3 の下端を前記ハウジング本体 2 の段部 2 2 に載置する。すると、図 3 に示すように、前記ガーニッシュ 3 の係合爪 3 3 を前記ハウジング本体 2 と一体構造の前記ユニットブラケット 1 2 の係合孔 1 6 の縁に係合させた際に、前記ガーニッシュ 3 の凸部 3 2 が前記ハウジング本体 2 の弾性板部 2 4 を矢印方向に押圧させるので、その弾性板部 2 4 において、上述の矢印と反対方向の弾性力、すなわち前記ガーニッシュ 3 側の係合爪 3 3 が前記ハウジング本体 2 側の係合孔 1 6 の縁に係合する方向の弾性力が作用する。この結果、前記ガーニッシュ 3 とハウジング本体 2 とは、ハウジング本体 2 側の係合孔 1 6 の縁とガーニッシュ 3 側の係合爪 3 3 との係合と、その係合孔 1 6 の縁と係合爪 3

3とが相互に係合する方向に作用する弾性板部24の弾性力により、組み付けられることとなる。

【0011】

この実施例における本考案の車両用後写鏡のミラーハウジングは、以上の如き構成からなる。すなわち、ハウジング本体2側の係合孔16の縁とガーニッシュ3側の係合爪33とが相互に係合し、かつそのハウジング本体2とガーニッシュ3との間において、弾性板部24の弾性力が前記係合孔16の縁と係合爪33とが相互に係合する方向に作用することにより、ハウジング本体2とガーニッシュ3とが組み付けられている。

この結果、ハウジング本体2側の係合孔16の縁とガーニッシュ3側の係合爪33とは、弾性板部24の弾性力であって、上述の係合孔16の縁と係合爪33とが相互に係合する方向の弾性力が作用するので、ハウジング本体2側の係合孔16の縁とガーニッシュ3側の係合爪33との係合状態が、ただ単に係合爪を相互に係合した係合状態と比較して確固である。

このように、本考案のミラーハウジングは、ハウジング本体2とガーニッシュ3とを、ねじ等を用いずに、係合孔16の縁と係合爪33との係合と弾性板部24の弾性力とにより、充分に確固に組み付けることができる。従って、ハウジング本体2にユニットブラケット12を介してパワーユニット13やミラー14等を取り付け、そのハウジング本体2をドアに取り付け、その後そのハウジング本体2にガーニッシュ3を取り付ける、所謂ガーニッシュ3の後組付が可能となる。

【0012】

特に、この実施例においては、ハウジング本体2の前面開口部20の上縁から左右両縁にかけての後部側に差込溝21を設け、一方ガーニッシュ3の前面開口部30の上縁から左右両縁にかけて差込凸部31を一体に突設したものであるから、差込溝21に差込凸部31を差し込むことにより、ハウジング本体2の前面開口部20の上縁から左右両縁にかけての縁とガーニッシュ3の前面開口部30の上縁から左右両縁にかけての縁との間の隙間を無くすることができる。また、ハウジング本体2の透孔25及びスリット23をガーニッシュ3で閉塞するので、

風もれや風切り音や水の侵入等を防ぐことができる。

【0013】

なお、上述の実施例においては車両用ドアミラーについて説明したが、本考案の車両用後写鏡のミラーハウジングはその他の車両用後写鏡にも使用することができる。

また、本考案の車両用後写鏡のミラーハウジングは、上述の係合手段としての係合爪33や係合孔16、また弾性部材としての弾性板部24等は、1箇所若しくは複数箇所設けて良い。

さらに、上述の実施例においては、係合孔16をハウジング本体2と一体構造のユニットブラケット12に設けたが、ハウジング本体2に直接設けても良い。

さらにまた、上述の実施例においては、係合孔16をハウジング本体2側に設け、係合爪33をガーニッシュ3側に設けたが、その反対に係合爪をハウジング本体2側に設け、係合孔をガーニッシュ3側に設けたり、あるいは係合爪と係合孔とをハウジング本体2及びガーニッシュ3双方にそれぞれ設けてもよい。

さらにまた、上述の実施例においては、ハウジング本体2に弾性板部24を設けたが、この弾性板部をガーニッシュ3に設けたり、あるいは弾性板部をハウジング本体2及びガーニッシュ3双方に設けても良い。

【0014】

【考案の効果】

以上から明らかなように、本考案の車両用後写鏡のミラーハウジングは、ハウジング本体とガーニッシュとを確固に組み付けることができ、かつガーニッシュを後組付することができる。